

新学習指導要領による教育課程が実施されて2年目の今年、本校では「一人ひとりが生き生きと学ぶ算数科 ～自分の考えを持ち、表現する児童の育成を目指して～」を研究主題に据え、6月から計4回にわたって講師の方にご指導いただき、研修を積み重ねてきました（第1回は全体研修、2回目以降は各学年の授業展開と研究協議）。

授業展開では教室内での密を避けるために参観者の人数を制限した上で動画を撮影し、別室にてリアルタイムで授業の様子を見られるようにしました。先生方が実際に子どもたちの学習活動の場面に触れるために、時間を決めて交代で教室での参観できる時間も確保しました。○学年や実態に応じたノート指導、○ヒントカードの活用法、○子どもたちの考えを集約するポイント、○生きて働く知識・技能が身につく練習問題の在り方、○それぞれの指導過程における良い発問の条件 など、具体的な指導内容を踏まえ、ステップアップした授業を目指して研究を進めてきました。このほど、研修の最終回にあたる校内授業研究会が第1週に実施されました。



体育館で全学年が集まり、感染対策を取って学年混合の3つのグループで授業についての意見交換を行っています。



授業で参考にしたい点をピンク、改善できる点を黄色の付箋で指摘し、カテゴリーごとにまとめます。



協議の結果をグループごとに報告しています。



グループ協議を行っている間、授業を展開した学年が講師から指導・助言をいただいています。（終末で講師からの全体指導があります。）

ご指導いただいたことを校内で共有し、今後もさらに指導法の工夫と改善を図って、「算数が楽しい！」と感じて生き生きと学ぶ子どもたちを育てていきたいと思えます。
(角田)